

瀋陽駐在員事務所

中国のお菓子事情

ここ1~2年、買い物をすると「おや？」という商品をたびたび目にします。中国内では日本製品の質の高さは十分認知されていますが、国内製品にくらべ、高額となるのがネックでした。

写真の「お菓子」は見たところ何の変哲もない日本製品のように見えますが、表示されている値段は16.8元



(約260円)と輸入品にしては破格の安さです。実はこの商品、製造しているのは日本企業のシンガポール現法です。中国はASEAN諸国と包括・個別にFTA(自由貿易協定)を結んでおり、食品に関して概ね関税率は「ゼロ」となっています。日本製食品は中国側で原産地・原材料などで多岐に渡り規制されていますが、

ASEAN域内製品は規制が全般的に緩やかとも言われています。道内でもASEAN地域進出への関心は高いですが、その後の「市場展開」について、こうしたFTAなどを活用したASEAN域外への輸出も着眼点ではないかとも感じました。



余談ですが、最近、日本製と思われる商品を数点購入したのですが、よく見ると日本語表記を散りばめているものの、日本企業との関連がない「台湾製」も複数ありました。しかし、いずれも値段・味とも日本企業製と遜色ないレベルで、台湾製品の総合力は一頃より格段に進んでいるように思います。

南 敏律

ユジノサハリンスク駐在員事務所

【サハリンの熱い冬】

年末は雪が少なかったのですが、年が明けてからまとまった雪が降り、サハリンらしくなってきました。本格的なスキーシーズンの到来です。ユジノサハリンスクが誇るスキー場「ゴールヌィ・ボズドゥフ」(山の空気)も賑わいを見せています。ここ山の空気スキー場は市内中心部からのアクセスが非常に良いです。(当事務所が入居する北海道センターから車で10分!)利用者はスキーパス(カード)を100ルーブルで購入します。カードにチャージし、リフト乗り場を通過する方式は日本と同じです。料金はリフト1回150ルーブルで、昼9:00~17:00の1日券は1,200ルーブル(約2,400円)、夜17:00~21:00のナイター券は800ルーブル(約1,600円)です。

先日、ロシア人の友人に誘われ、ロシアでの今年初すべりをしてきました。気温はマイナス10程度だったのですが、この季節の夜としては暖かいほうです。ロシアでの初ナイターは夜景が綺麗でした。滑った後のバーニャ(ロシア式サウナ)がまた最高なのですが、これは別の機会にご紹介します。氷点下のロシアは熱いです!



山の空気スキー場より市内を望む
(ゴンドラは8人乗り)



山の空気スキー場の中腹より
市内を撮影

達田 暢

ウラジオストク駐在員事務所

ロシアでの年末年始について

ロシアの年末年始は日本や欧米と同じように、クリスマスやお正月といったイベントが続きます。そしていくつかの特徴があります。まず、日欧米のクリスマスは12月25日ですが、ロシアや一部の旧ソ連諸国では1月7日です。理由は欧米もロシアももともとキリスト教圏の国ですが、カトリック教やプロテスタント教が主流になっている欧米とは違い、ロシアはギリシャ由来の正教会に属するロシア正教会が主流になっているからです。



クリスマスの祝い方は、日米欧とロシアとの間で大きな違いはなく、教会や聖堂で行われる儀式・式典に参加したり、一日中祈り続けたりする人もいます。しかし、大半は家族でクリスマスパーティーを行ったり、町の中央広場等に設置されたクリスマスツリーを見に行ったり、関連イベントに参加したりします。また、最近のロシア



アではクリスマスの宗教性が薄くなっており、世俗的な祭日としての色合いが濃厚になったため、宗教自体を否定する無宗教者も祝うようになりました。

ロシアの年末年始のもう一つの特徴は10日間にも及ぶ年始連休です。2005年までは1月1・2日のみだった休日を5倍に伸ばしたこの制度は、多くのロシア人の中で定着しているようですが、もっと短縮すべきとの声があるのも事実です。

イワン・モズゴヴォイ

北陸銀行バンコク駐在員事務所

「タイ人の海外旅行」

さっぽろ雪まつりを間近に控え、多くのタイ人が札幌に旅行に訪れる時期が来ました(さっぽろ雪まつりはタイ人にとって非常に人気のあるイベントです)。2016年は訪日外国人数が2000万人を超えた事が話題となりましたが、今回はタイ人の海外旅行事情について情報提供をしたいと思います。



2015年に海外に行ったタイ人は人口の3.5%となっています(タイ統計局及びタイ観光庁調べ)。タイの人口が約6700万人なので、計算上およそ230万人のタイ人が海外旅行に行った事になります。一方、2015年度の北海道へのタイ人旅行客数は約15万人(北海道庁調べ)となっており、まだまだ増加の余地があると考えます。

また、バンコクと新千歳空港は2012年から直行便が就航しておりますが、このほかに現在バンコクから日本との直行便がある都市は東京(羽田・成田)、名古屋、大阪(関空)、福岡となっております。これら主要都市の他、多くの都道府県が様々なメディアを使用してタイ国内でPRを積極的に展開しています。

吉田 雄司

日中経済協会 北京事務所 札幌経済交流室

春運(しゅんうん)

春運とは春節(旧正月)の前後に交通量が非常に多くなる現象のことで、春節の15日前から後25日頃までの約40日間を指します。この期間に移動する旅客の延べ人数は中国の人口を超えており、近年30億人前後で推移しています。中国では家族で年を越すのが慣わしであり、都市部への出稼ぎ労働者やこの時期に冬休みになる大学生などが一斉に帰省するため、この人類最大の移動現象が起こります。



北京駅にはスーツケースを持った人が目立つ

今年の春運は、1月13日から2月21日までの計40日間です。この期間は、鉄道やバスなどが増便される特別輸送体制となります。北京鉄道局はこの期間の利用者数を去年同期比6%増の延べ3,150万人、ピーク時には1日の利用者数が100万人を超えると予測しています。北京には、北京駅、北京東駅、北京南駅、の合計3駅が存在しているとはいえ、その延べ人数には驚かされます。

大都市である北京には出稼ぎ労働者が多いため、春運スタート以降、日に日に車や人の数が減ってきていることを現地で感じています。驚いたことに、北京では人口の約半分近く(1,000万人弱)が帰省するとも言われています。春節休暇がスタートする27日以降は、いつもの喧騒な雰囲気と打って変わった静寂な北京が待っていそうです。

小笠原 宅麻

北海道 ASEAN 事務所(シンガポール)

【天皇誕生日祝賀レセプション】

12月12日、シンガポール国内のホテルにて在シンガポール日本国大使館主催のイベント「天皇誕生日祝賀レセプション」が開催されました。イベントには、在シンガポール日本国大使を始め、シンガポール政府関係者、在シンガポール企業等700名程度が出席しました。会場では北海道の他、岩手県、福島県、茨城県、新潟県、新潟市、静岡県、熊本県、鹿児島県がブースを展開し協賛品を提供しました。



北海道産品を求めるシンガポール人の列

北海道は、各道内企業様にご協賛を頂き、日本酒、チーズ、チーズケーキを提供しました。北海道ブースは、提供開始早々に他の都道府県よりも長い列を作り、中でも特にチーズケーキは早い段階で全量を出し切り、北海道産の乳製品の人気を改めて確認する事が出来ました。日本酒に関しては、北海道と日本酒のイメージがつかない出席者も一部いましたが、試飲後の感想は概ね好感触であり、北海道産の日本酒をPR出来る良い機会となりました。



レセプション会場

更に会場では、出席者から冬のアクティビティを始めとした観光の問合せを多く受け、北海道がシンガポール人にとって『食』のみならず、『観光』の面でも非常に魅力的な地域である事を改めて認識しました。

北海道ASEAN事務所では、北海道の持つさまざまな魅力を、シンガポールを始めASEAN諸国の多くの方々にお伝えしていく活動を展開しております。

本間 俊也